



横越町長 浅見良一

平成17年

新年のごあいさつ

明けましておめでとうでございます。昨年は、町民の皆様方から、町政運営にご理解ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。年頭にあたり、新年のごあいさつを申し上げます。

新潟県中越地震について

昨年は、全国各地で未曾有の台風被害や水害、地震災害等が発生しました。

中でも昨年10月23日夕刻発生しました中越地震は、観測史上かつてない大震災でありました。山崩れにより、鉄道、道路が寸断され、尊い人命・民家が失われるなど、被害総額は3兆円にも及ぶとも言われ、まさに人心の恐怖は極限に達しました。

町といたしましては、町職員を災害援助に派遣するとともに、被災者の救援に向けて皆様方のご理解ご協力によりいただきました温かい義援金を、県対策本部へ送らせていただきました。誠にありがとうございました。被災された方々の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

新潟市と合併

さて、現在、国内の経済情勢は依然として厳しいものがあり、国も地方も大きな変革期を迎え

ております。

国は自治体の自己決定・自己責任による創意と工夫に富んだ施策を尊重し、住民ニーズに対応した多様な個性な地域づくり、住民が豊かさやゆとりを実感できる生活を実現するために、地方に権限、財源の移譲を行う三位一体の改革を進めております。

一方、新潟都市圏においては、将来に夢を託せる新時代を創るため、新潟市を中心とした12市町村が、小異を捨て大同に付くとの決意を新たに、大同合併し、人口80万都市の新・新潟市として歴史的な第一歩を踏み出す重要な年となりました。

今回の合併には、計り知れない大きな効果があります。それぞれの市町村が個々に実施してきた福祉や医療、環境、教育などの諸課題が、広域的な視点から対応できる上に、各種事業の一体的、効率的な実施が可能となります。また、土地利用や産業振興、道路、公園、スポーツ施設など社会資本における一体的、効率的な活用、さらに「都

市が産業を創る」と言われるように、合併によって人、物、情報の交流が拡大し、都市としての拠点性が高まるだけでなく、より多くの都市型産業が創出され、世界に挑戦できる特色ある企業の育成、雇用の拡大、若者の地元定着、重要プロジェクトの誘致など様々な効果が期待できるように、より一層の魅力あるまちづくりが可能となります。

合併後、新市の中で重要性が増す亀田郷

合併後の横越町、亀田町は新市のほぼ中心地に位置し、亀田郷土地改良事業により整備された広大な優良農地で水稲を基幹として、野菜、果樹、花き、畜産などの生産が行われ、新しい新潟市の大食料基地としてますますその重要度は増すことが期待されています。

も、日本海東北自動車道をはじめ、国道49号、大外環状道路など、広域幹線道路の結節点におけるJR信越本線の新駅実現などにより、交通の要所として位置することになり、ますます重要な地域となります。この地域の発展によって、大規模商業施設や福祉、文教施設を活用する人が増え、物流や交流も盛んになります。

合併に伴い、新・新潟市の一翼として新しい出発と発展が期待されます。

これからも、住民の皆様のご理解ご協力を得ながら、安心して暮らせる住み良いまちづくりのために、全力で取り組んで参る所存であります。

議会 12月例会

新潟市との合併に伴う

事務委託の廃止などについて可決

横越町議会12月定例会が、12月14日から16日までの3日間の会期で開催されました。

初日には、町長による行政報告があった後、一般質問に4名の議員が立ち、防犯パトロールの継続、保育園の安全管理、道路整備と雨水対策、合併後の子育て支援策について、町長や担当課長に質問しました。

続いて、平成16年度横越町一般会計補正予算および特別会計

補正予算6件、新潟市との合併に伴う各種事務委託の廃止や一部事務組合・公社の解散、町道路線の廃止・認定などの議案が可決。15日は各常任委員会が開催されました。最終日の16日には、市町村合併調査特別委員会と本会議が開かれ、議員発議2件について議決され、閉会しました。

おもな議案

合併に伴う事務委託の廃止、事務組合からの脱退など

- 新潟地域土地開発公社の解散、○新潟市小須戸町横越町亀田町介護認定審査会の廃止、○新潟保健所管内市町予防接種健康被害調査委員会の廃止、○新潟地域合併協議会の廃止、○亀田町と横越町との消防事務の事務委託に関する規約の廃止、○教育に関する事務委託の廃止、○新潟地域広域市町村圏協議会からの脱退、○四市中東蒲原老人福祉施設事務組合からの脱退、○新潟県中東福祉事務組合からの脱退など。

平成16年度一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出の総額にそれぞれ1億5,753万円を追加し、総額49億2,976万円となりました。

歳出補正の主なものは、老人福祉施設用地購入費8,236万円、通所型授産施設用地購入費1,361万円、郷土資料整理委託料1,040万円、双葉保育園改修工事等791万円、中央保育園改修工事等466万円、特定資金公共事業償還費399万円、幼児医療費390万円、旧藤野野菜集出荷場改修工事387万円、消防施設修繕料372万円、施設看板等名称変更335万円、小杉保育園改修工事等288万円、町史目録印刷費284万円、住居表示委託料222万円、総合体育館券売機購入費221万円などを追加、なかの保育園入所児童委託料800万円、基本健診・がん検診委託料390万円などを減額しました。

横越地区地域審議会(仮称)委員を募集します 応募締切は1月20日(木)

合併後の横越地区(現横越町全域)の合併建設計画の執行状況や見直し、まちづくり計画の策定や変更などについて審議する横越地区地域審議会(仮称)の委員を募集します。

この審議会は、公募委員のほか、公共的団体等の代表者や学識経験者などの委員30名で構成します。委員は、横越町で選考後、新潟市長に推薦し、合併後新潟市長が委嘱します。任期は2年間です。

◆対象 横越町在住、20歳以上の人で、平日に行う会議に出席できる人。ただし、合併関係市町村の審議会などですでに委員になっている人および合併関係市町村の議員・職員は除きます。

◆募集人数 2人

◆応募方法 1月20日(必着)までに、住所、氏名、電話番号、生年月日、性別、職業を記入した応募用紙と横越地区地域審議会(仮称)委員に応募する理由を400字程度にまとめたものを添えて、直接お持ちいただくか、郵便、FAX、電子メールで総務課へお送りください。

◆送付・問い合わせ 総務課 企画広報係 ☎385-2111 ☎385-2410 電子メール kikaku@town.yokogoshi.niigata.jp

なお、審議会委員の応募用紙は総務課窓口に備え付けてあります。町ホームページからもダウンロードできます。